

[江別市] 施策達成度報告書

政策 04 安全で快適な都市生活の充実

施策 02 交通環境の充実

主管課 都市計画課

施策の環境変化と課題

| 施策の環境変化 (21年度) | 施策の課題 (21年度) |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・道央都市圏を対象とした総合都市交通の方針を示す広域交通計画の策定が進められています。 ・人口減少、高齢化の急速な進行や社会経済環境の変化により、道路整備や道路環境の整備については、厳しい状況下に置かれている。 ・地球環境保全に向けた国際的取り組みが進められており、環境負荷の少ない交通環境の構築が求められています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や高齢化社会への移行に伴い、コンパクトな都市づくりが求められており、交通体系についても内部熟成型の都市構造からの検討が必要になっております。 ・高齢者等の交通弱者の交通利便性を向上させることが課題となっています。 ・冬期の交通環境を充実させるために、市民、事業者との協働による取り組みが必要となっています。 |

施策の目的

交通環境を充実させることにより、市内・市外の移動を円滑にし、市民の安全性・利便性・快適性を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民及び道路利用者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

円滑な移動を可能にし、市民の安全性・利便性・快適性を高める。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 施策の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 後期目標値 |
|-----------------|----|------|------|------|------|-------|
| 市内の移動に困らない市民割合 | % | 79.6 | 80.9 | | | ↗ |
| 市外への移動に困らない市民割合 | % | 79.0 | 81.0 | | | ↗ |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

施策の達成状況 (21年度)

交通環境の充実に対する達成状況は、バス利用者がその他の移動手段に移行したことが推測されるなかで、成果指標である「移動に困らない市民割合」がほぼ横ばいの状況であり、このことは道路の拡幅整備や冬期の除排雪による交通環境整備等の充実により維持しているものと推察されます。

| 施策事業コスト | 20年度決算額 | 21年度決算額 | 22年度当初予算 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| トータルコスト(千円) | 1,696,218 | 1,946,509 | 1,775,528 |
| 事業費(千円) | 1,524,459 | 1,773,909 | 1,600,223 |
| 人件費(千円) | 171,759 | 172,600 | 175,305 |

01 安全で快適な道路づくり

基本事業の目的

道路を整備・改修・維持することにより、安全で快適に通行できるようにします。また、放置自転車対策などを行うことにより人に優しい歩行者空間を確保します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、道路利用者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

道路利用者が、安全で快適に通行できる交通環境を確保するとともに、人に優しい歩行者空間を確保する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 基本事業の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 後期目標値 |
|---------------------|----|------|------|------|------|-------|
| 安全で快適に移動できると感じる市民割合 | % | 71.1 | 73.9 | | | ↗ |
| 道路維持管理上の不具合件数 | 件 | 513 | 585 | | | 400 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

基本事業の達成状況 (21年度)

成果指標の「道路維持管理上の不具合件数」は、道路等の老朽化が進行していることから若干上昇しているが、道路の整備・改修・維持に努めた結果、「安全で快適に移動できると感じる市民割合」はほぼ横ばいの状況となっている。

| 基本事業コスト | 20年度決算額 | 21年度決算額 | 22年度当初予算 |
|-------------|---------|-----------|----------|
| トータルコスト(千円) | 0 | 1,096,995 | 939,281 |
| 事業費(千円) | | 1,007,791 | 861,830 |
| 人件費(千円) | | 89,204 | 77,451 |

02 克雪による道路環境の整備

基本事業の目的

行政と市民、事業者が協働で除排雪に取り組むことにより冬期間の交通を確保し、円滑な冬の移動を確保します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、道路利用者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

冬期間の交通の確保や、置雪問題など行政と市民が協働で快適な冬の生活を確保し、社会・経済活動を支援する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 基本事業の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 後期目標値 |
|-------------------|----|------|------|------|------|-------|
| 雪対策が充実していると思う市民割合 | % | 44.6 | 48.4 | | | ↗ |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

基本事業の達成状況 (21年度)

交差点除雪の工夫や効率的な排雪等に努めており、成果指標はほぼ横ばいとなっているが、今後とも市民・事業者との協働や除排雪の工夫等により、指標の向上が期待できる。

| 基本事業コスト | 20年度決算額 | 21年度決算額 | 22年度当初予算 |
|-------------|---------|---------|----------|
| トータルコスト(千円) | 0 | 765,907 | 731,303 |
| 事業費(千円) | | 741,842 | 707,151 |
| 人件費(千円) | | 24,065 | 24,152 |

03 移動交通手段の充実

基本事業の目的

日常の移動交通手段を充実させることで、市民の移動を便利にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、既存バス事業者、新規参入交通事業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

住居系地域における移動交通手段への利便性の確保

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 基本事業の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 後期目標値 |
|--------------------|----|------|------|------|------|-------|
| 交通手段が充実していると思う市民割合 | % | 71.3 | 71.5 | | | ↗ |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

基本事業の達成状況 (21年度)

成果指標の「交通手段が充実していると思う市民割合」はほぼ横ばいですが、バス利用者は減少傾向にあり、民間バス事業者の経営環境は一層厳しいものと推察され、今後の市内バス路線の維持確保に向け、事業者との連携を図りながら、広報やHPを通じて路線バスの利用促進のPRに努めているところです。

| 基本事業コスト | 20年度決算額 | 21年度決算額 | 22年度当初予算 |
|-------------|---------|---------|----------|
| トータルコスト(千円) | 0 | 9,852 | 10,800 |
| 事業費(千円) | | 6,947 | 6,220 |
| 人件費(千円) | | 2,905 | 4,580 |

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 基本事業の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 年度 | 年度 | 年度 | 後期目標値 |
|----------------|----|-----|----|----|----|-------|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

基本事業の達成状況

| 基本事業コスト | 年度決算額 | 年度決算額 | 年度当初予算 |
|-------------|-------|-------|--------|
| トータルコスト(千円) | | | |
| 事業費(千円) | | | |
| 人件費(千円) | | | |